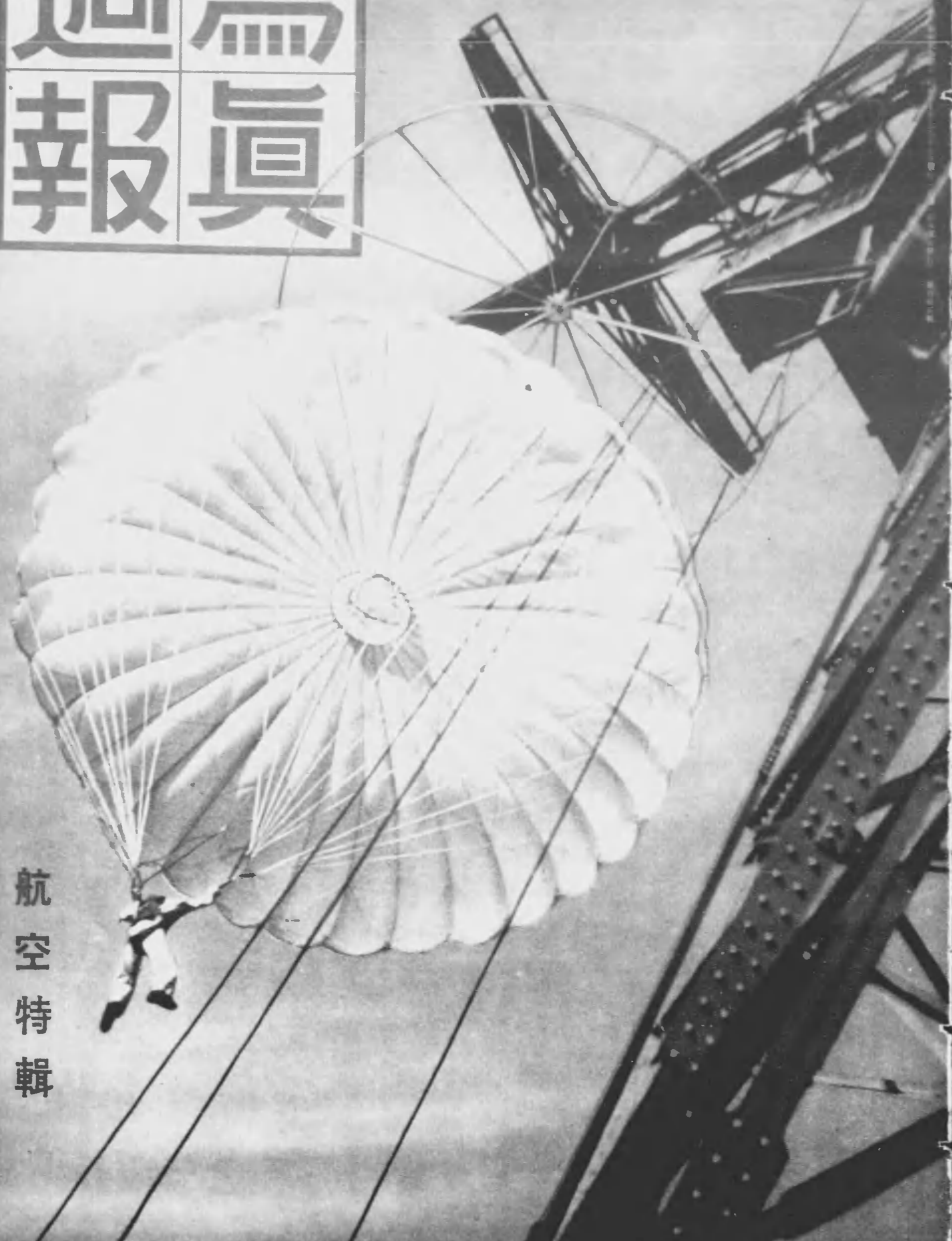


寫眞週報

編輯部情報閣内  
ンセ十・號五卅百第・日五廿月九

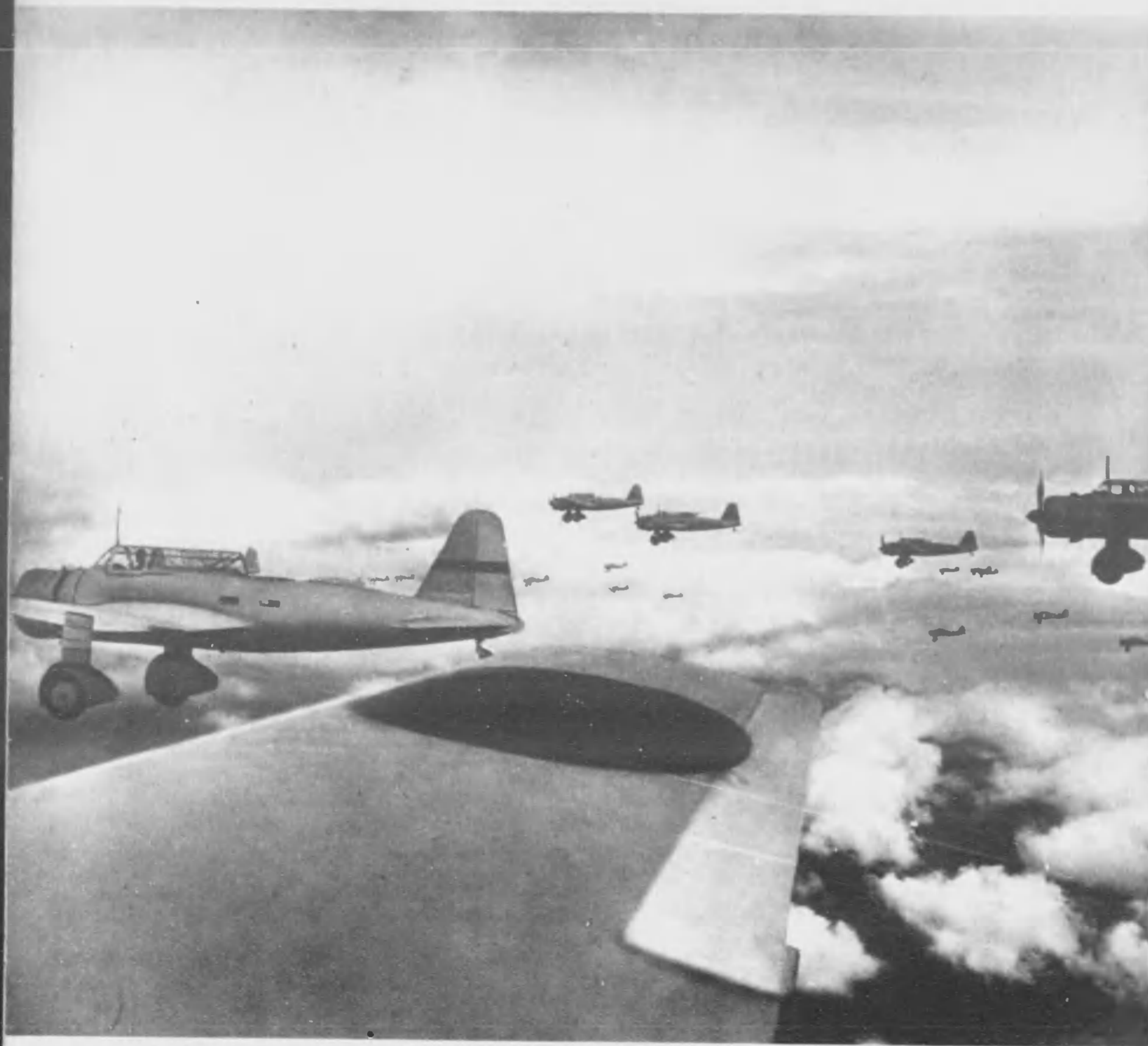
昭和十九年九月廿五日



航空特輯



機爆輕銳新軍陸 でん包に翼鵬を州餘百四



「航空日本の歌」

(一) 無敵の響銀色の翼きりりとまつしぐら前線遙か荒鷲の大空翔けるあの姿

(二) 皇國の華と大君に生命捧げて悠々と不滅の凱歌けふもまた歴史を飾るたのもしき

(三) 科學の翼雲わけて拓く空路は善隣の尊い使命火と燃える我等の赤い日の丸機

(四) 七つの海を羽搏いて行くぞ世界のそらの路翼の國の日本の希望をのせて高らかに

撮影 吉崎松雄

腸疾患治療と豫防に

ビオフェルミンは、生活力、繁殖力共に強盛なる乳酸菌を主剤とし之に乳酸菌の作用を補強する消化菌を共存せしめたる、整腸殺菌・消化剤にして……

- ①腸内の腐敗及び異常發酵を防止し、腸機能を正常ならしむ。
  - ②有害細菌を殺滅し、毒素の体内吸収を防ぎ、便通を調整す。
  - ③澱粉蛋白質を消化し、栄養分の体内吸収を佳良ならしむ。
- この諸作用が相俟つて各種腸疾患の治療と豫防並に保健に奏効す。

ビオフェルミン

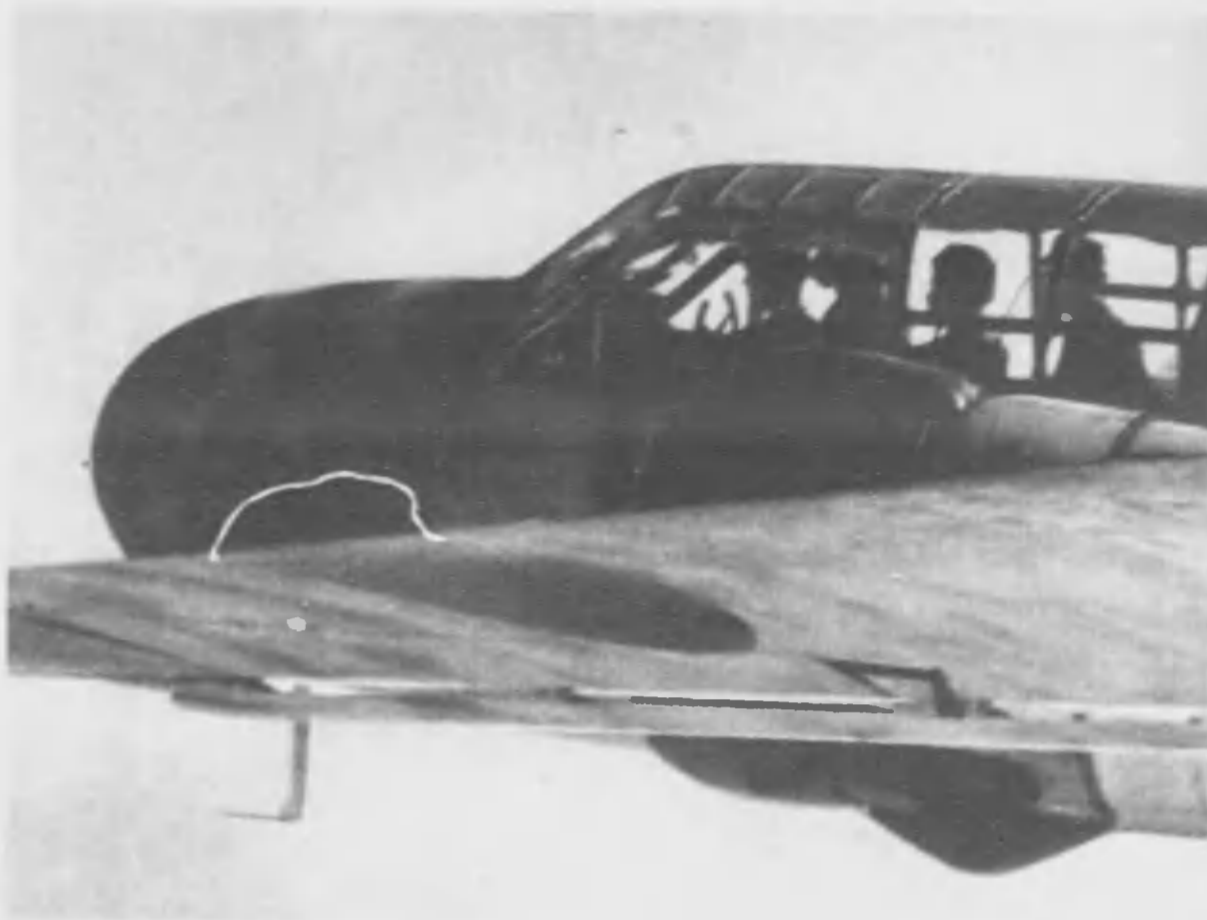
- (用途)
- 一 急性慢性腸カタル、下痢
  - 一 消化不良、常習便秘、脚氣
  - 一 小兒下痢、緑便、消化不良
  - 一 疫病・赤痢・コレラ・腸チフス等の治療と豫防に。



粉末と錠の二種あり

店商衛兵長田武 元賣發

# 重慶連續爆炸行



基地を出る時は絶好の爆撃日と、今日こそはと意気こんで来たが、四川に近づくに従って密雲が多くなってくる。これではまた重慶は雲に包まれてゐるだらう。思はず舌打ちしたくなる。しかし蜀犬陽に吠えるといはれる四川の空だやむをえまい



だが、エンチンはますます快調愛機の爆音に耳を澄ますと身体一杯熱い血潮がたぎってくる。今日こそやるぞ、ふと自爆した僚機が目に浮んで、喉の裏が熱くなる。さうだ、思ひ切りやるぞ

編隊は大陸の空を壓して、層また層の密雲を突切つて行く。時計を見ると、もう五時近い。そろそろ重慶だ。案の條、密雲で遮られてさつぱり視野がきかない。爆音で日軍來を知つたのだから、敵の高角砲と高射機銃があはてたやうに唸りはじめた

艦隊長機は？ 既に密雲に機首を突きこんでゐる、おくれでなるものか、操縦桿を方一杯押してぐいと機首を下げる。四千、三千、二千、機は急角度でぐんぐん下降する、千米、はれ、見え出したぞ、お馴染の重慶だ。既に死の街と化しつゝある重慶、わが軍の急襲に右往左往する敵兵がはつきり見えるやうだ、既に僚機の爆撃で火を發してゐるのが二、三ヶ所、さあ今日は何處を吹とばしてやらう

(S 海軍の手記から)

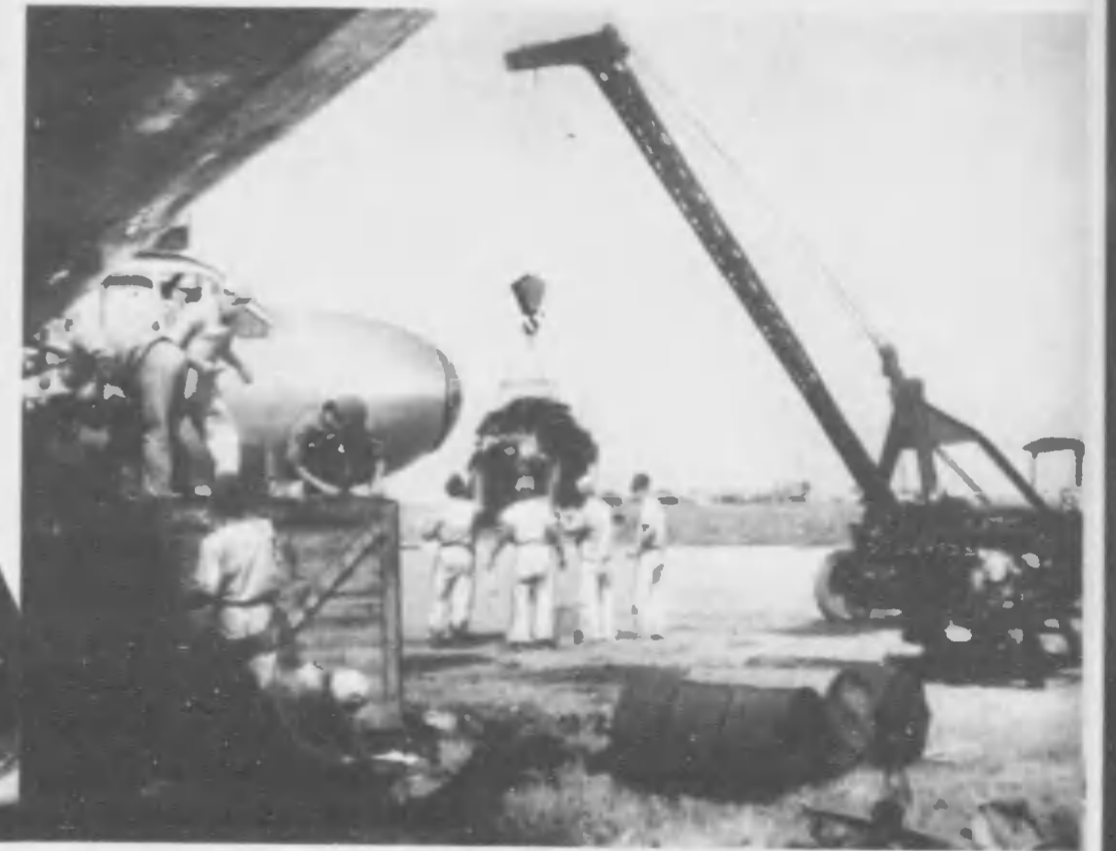


撮影海軍省

# 飛ばぬ翼の人の人々

撮影 海軍省

連日活躍した機は右側機関に武  
動を語る如く弾復も生々しく凱  
旋した。さあ、發動機の修繕だ



輝く戦功をたて夜に入つて、基地に歸つた  
爆撃機は息つく暇もなく、明朝はまた爆撃  
行た。夜間から出發寸前の曉までかよつて  
微光燈を頭上に整備員は不眠の整備に當る

「〇〇一等水兵」「ハイ」この手紙の差出  
人は女たぞ、たゞでは渡さん、戒律だ。金  
十銭徴發だ。故國を遠く離れた兵隊さんに  
故郷の便りはとびつきたくなるほどうれし  
い。ここにはまた戒律の深い味もある

かの渡洋爆撃以來、敵前上陸作戦に  
敵基地爆撃に或は殘敵掃蕩に野かしい  
戦果を収め、敵空軍を完全にたゞしきの  
めしたわが航空隊の偉勳の蔭にはその  
線の下力持となつて機體の修理や  
調整に當つてゐる地上勤務員の並々な  
らぬ努力のあることを忘れてはならな  
い。しかも近代航空戦は前線が進むにつ  
れてその基地も前進する。そこでは、  
また敵の敗殘兵が出没する中に、  
地上勤務員は機體を組立てる傍ら基地  
の設置にまで當る。いま支那大陸にあ  
る海軍航空隊前線基地ではこの地上勤  
務員が、日夜をわかつたこの困難な勤  
務を日常茶飯事のやうに淡々とやつて  
のけてゐる

エンヂンの調子も上乘、機體の修理も終つ  
た海軍は、また限りなく敵部の爆撃に向ふ。  
「行つてこいよ。やつつけてくれ。そして  
無事に歸還してくれ」不眠の整備員は目を赤  
くした整備員は帽子を振り、聲を限りに見  
送る

わが海軍の猛襲に敵空軍は摺伏した。した  
がつて地上勤務員もめづらしく閑ありの  
態、けふは魚捕ひに興ずる

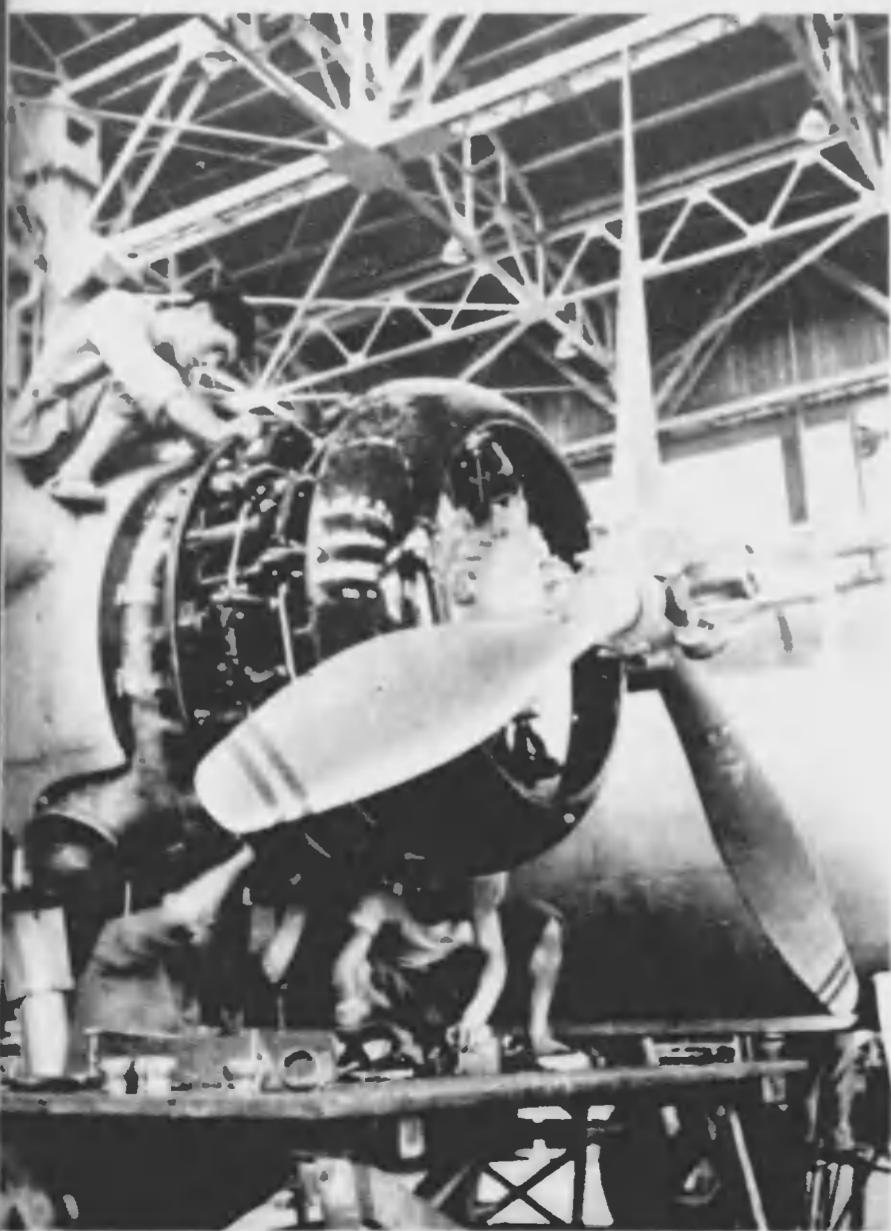




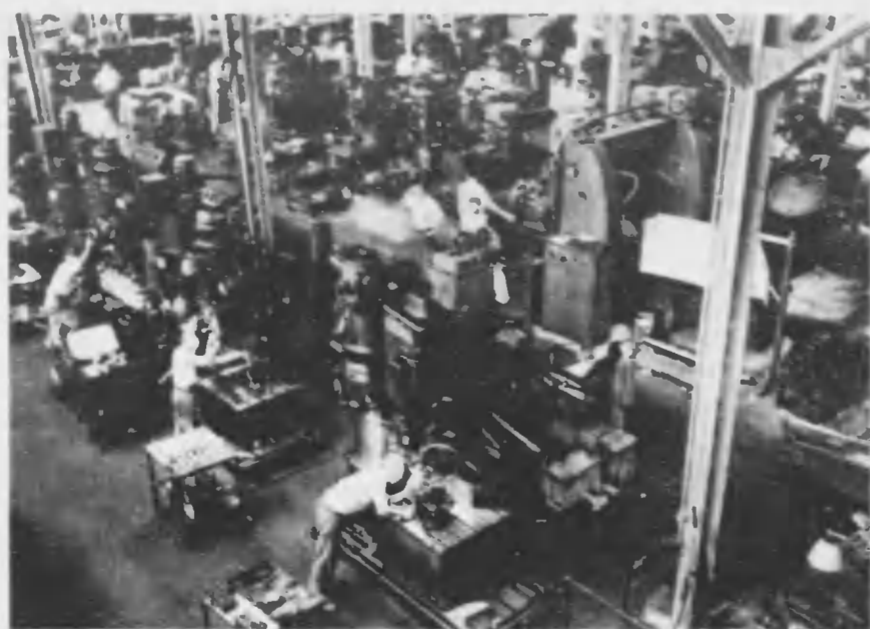
◁ 弾痕の切開手術



異次の重慶爆撃に傷ついた荒鷲は、その翼を各地の海軍の工場に休め、切開手術を受けては又飛び立つてゆく。敵弾は無数に憎々しい弾痕をうがってゐる。血糊のついた機銃桿やシートはわが荒鷲の勇壯な姿をあり／＼とみせてゐる。主から離れた愛機は車輪を取りかへられ、翼が張りかへられ、生れかはつたやうに磨かれて、再び三度び大陸の基地に送られてゆく



◁ エンジンも交換されて

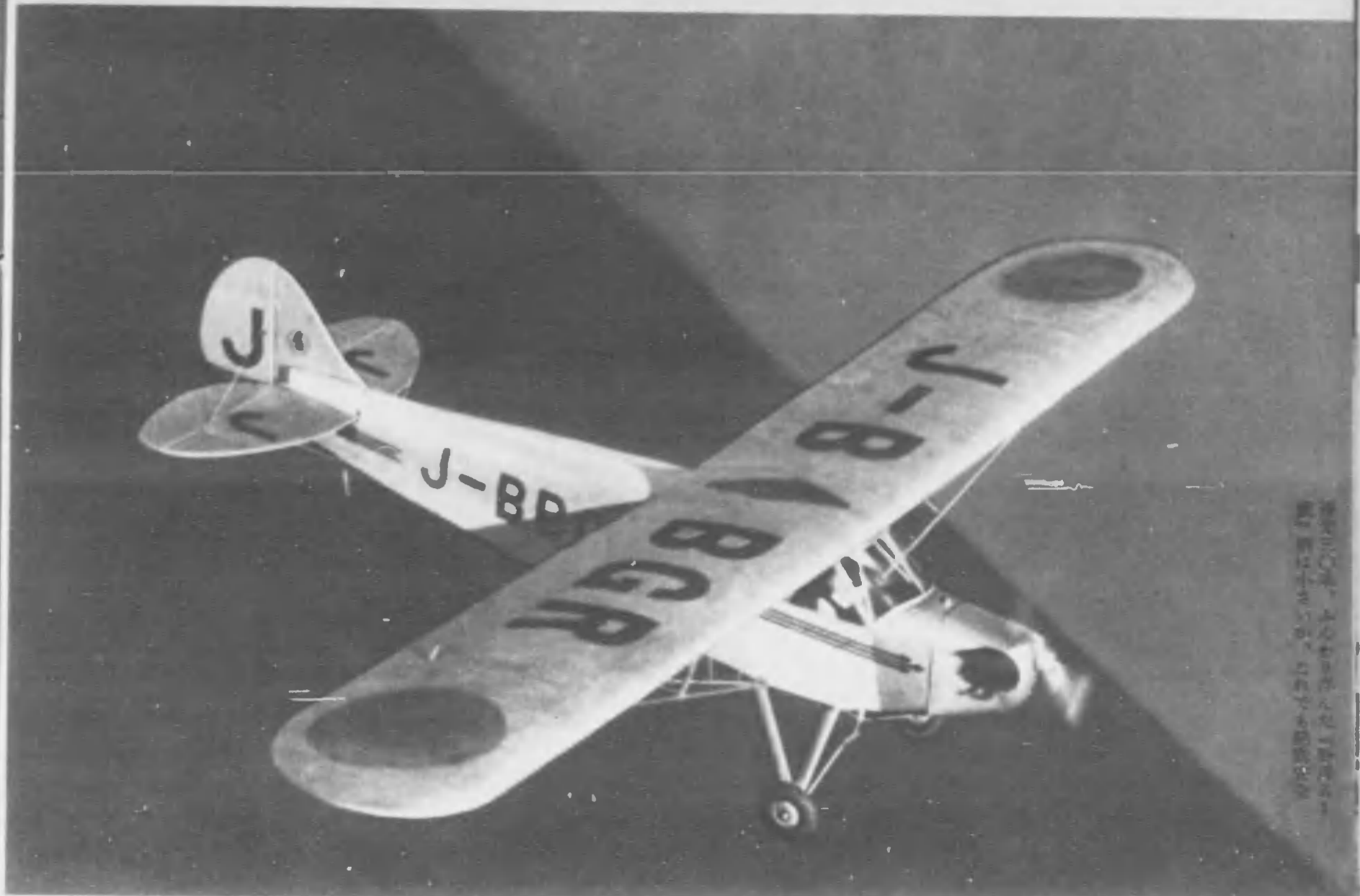


◁ 海軍某工場内で修理を受ける爆撃機  
◁ エンジン工場内部



◁ 重戦を物語る機銃席には無数の貫通弾痕がある。計器もシートもとりかへられる





# 近代戦と航空

飛行機が戦いに参加することになつて、恐るべき威力を挙げ、陸海軍の平面的な戦争に空が加はり、立体的な戦争となつたことは、第一次の歐洲大戦からである。この大戦でも知られてゐる。これ以後、第二次大戦の間に、航空界の躍進は、物語るに及ばず、空軍は陸海軍と並んでなくてはならない部門となつて、空軍なくしては戦争を論ずることが、今日の時代になつてきてゐる。航空を制するものは戦を制す」とは、軍事史と第二次歐洲大戦とが示してくれた大きな教訓であつた。

かうして近代戦とは切つても切れない關係にある空軍について、今更詳しく述べる必要はないが、この二、三十年の間に進歩した航空機の特長を考へるならば、われ／＼は、航空機は、安閑としてはゐられないのである。航空日本の建を世界にとなへるには、われ／＼は、どんなことを常に考へ、また實行しなければならぬだらうか。

## 科学知識を養へ

操縦士や機師は、飛行機の操縦といはれる整備員にしても、これらの航空勤務者の精神力と技術能力は、どんなこ

と考へても第一に必要なものである。航空機はこのことをよく物語つてゐる。兩翼あつてさへ落ちやすいものなのに、一翼でもなくなれば到底飛ぶことは出来ない、といふ風に考へてゐる人達が多いに、かゝる、有名な飛行機は、航空の基礎に對して、この立派な教訓を、科学の知識と結び、やうな教訓があつたからで、不可能なことでも、考へてなかつた。科学の中心が現下の國民に對して、航空の方面についても、勿論活かされなければならぬことであり、また、健全な精神力は、とりもたず健全な身體に對するものである。明日の航空日本のためには、是非とも精神力と精神力が、あつて、あつてゆかぬならぬ。

## 操縦者の素質

優秀な飛行機が空軍の主力部隊の上に必要なことには、勿論であるが、然しこればかりではいけない。支那の空軍を考へてみると、支那の飛行機は日本の飛行機に比べて、劣つてゐた。なぜならそれは支那の飛行機でなく、外國一流の飛行機を買つてゐたからである。事は何

# 蜂蜜の空



ちよつと一飛び、空の散歩に出かけませう  
「今日のエンヂンの具合、とてもいいわよ」と後の友達に話かける

ブルン、ブルン——可憐な爆音が湖崎飛行場の上空に快よくひびき渡る。東京私立野澤航空研究所が最近作り上げたばかりのわが國最初の二人乗り超小型飛行機「野澤1号」だ。大型で精巧なのは勿論必要だが、こんな手軽で小柄な飛行機が生れることだつて、航空の發達、普及には是非必要なことなのだ。

ブルン、ブルン——『空の蜜蜂』はお嬢さん二人をのせて羽ばたき軽く何度か飛行場を旋回する、アメリカでは自宅から飛行機で通勤する人があつたといふ。いまにわが國でもこんな飛行機が行き交ふ時が来て、空のゴーストクラブも生れるかも知れないブルン、ブルン——再び地上にとまつた機からお嬢さん二人は降りた、まるで自動車から降りるやうに。

野澤1号の性能——翼長一〇・七四米、全長六・八七米、全高二・〇三米、自重二五六キログ、最大速度一四〇キログ、巡航速度一三六キログ、實用上昇限度三六六〇米・航続時間三時間、發動機四〇馬力



## 航空機の生産力

航空日本に必要な技術者や製作者を養成してゆかねばならないのである。

専ら以來人的資源の重要性がいろいろいはれてゐる。航空界においてもこのことは大切なことである。新鋭機が出来上つたところで、その数が少なくなつたために戦争を始めて三ヶ月でその新鋭機を消耗してしまふやうであつたら何にもならない。生めよ、殖せよ新鋭機！たとひ戦争が十年つゞき二十年つゞき、百年つゞいたとしても、十分にそれに堪へていくともしない航空機製作能力を持つてゐなければならぬ。原料資源の獲得も亦當然必要なことである。

以上、四つの何れが缺けてもその國の航空の威力は甚だしく低くなる。眞に強力な空の陣營を作り上げるには、軍官民一體となり、直接航空に携はる人も、直接携はらない人も、悉く打つて一丸となり、前述の四つの要素を完全に備へて高らかに航空日本の歌を歌ひつづ進軍してゆけるやうに體制をととのへ、協力してゆかねばならぬ。

一億國民がひとしく、『科学知識の向上』『工業界の躍進的進歩』に邁進し、眞の強力國防國家の建設に協力してゆかう。この建設の礎こそ、日本が世界に覇をとなへるときである。

## 優秀な航空機を

しかし優秀な航空勤務者が多数生れると同時に優秀な航空機の生産されることも絶対に必要である。明治時代の末に、『草創期飛行機』とまで異名をつけられた當時の空に浮び上らなかつた飛行機を思ふとき、近年の航空界の躍進振りには、まことに驚目するばかりである。この勢いで將來もまた發達を遂げてゆくであらう。少しでも油断をすれば、列國の空軍力に立ちおくれしてしまふ。イタリア空軍はエチオピア戦争に勝つて油断したため列國空軍に立ちおくれたことがあつたといはれてゐる。列國と肩を並べ、否、一歩でも先を進んでゆくには優秀な航空機を揃へることは、いはずもがな、精進的な進歩を遂げた新鋭機をどしどし生み出さねばならない。これにはどうしても將來



# 飛行機と盲人

## 永渕佐武郎

ロンドン 遠征の機界 飛行機を運 送して、各陽 ...

彼の思考は實に想像外 ... 盲人と空を飛ぶ飛行機 ...



はばたく 若き心



航空は飛ぶではないに ... 飛行機を飛ぶ ...

飛行機を飛ぶ ... 飛行機を飛ぶ ...

# 日本の 空も高い

これはその時の雄叫の ... 飛行機を飛ぶ ...

飛行機を飛ぶ ... 飛行機を飛ぶ ...



# 航空三十年史抄

明治43年12月 徳川大尉は ... 昭和3年12月 ... 昭和4年4月 ...

煙草ハ 無駄ナク 吸ヒマセウ



# 模型飛行機の

## 作り方(一)

この機種の製作に必要な材料道具を並べてみる。次の如くである。

針、ゴム——一ミリ角、長さ二八〇ミリメートルのもの一本。但し針ゴムの無い場合は、他の竹ゴムのやうなもので、この重量に相当する分量のものであれば宜しい。

プロペラ——木製、直径一八〇ミリメートル、プロペラに直線とビッチが基準になるが、ビッチは離りにくいので、羽の最も幅の狭いところ二〇ミリメートル、プロペラの根元の厚み一〇ミリメートルのものを使用。大體これに近いものを機材材店から購入する。

### 必要な材料と道具

木棒——厚み二・六ミリメートル、長さ四〇〇ミリメートル、幅五・五ミリメートルの棒又は紙棒一本。これはなるべく木目の通つた、堅く、かつ丈夫なものである。

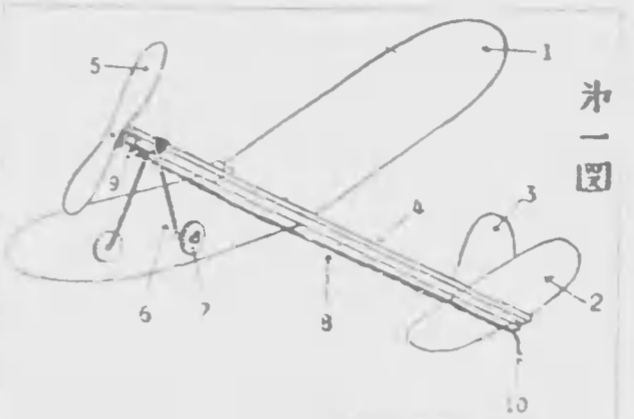
竹ヒコ——長さ約四〇〇ミリメートル、太さ一・五ミリメートルのもの五本。

車輪——木製、直径二〇ミリメートル、厚四ミリメートル位のものを二個。

日本紙のトレーシングペーパー——幅四〇〇ミリメートル、長さ二〇〇ミリメートルのもの一枚。

アルミニウム管——外径約二・五ミリメートル、長さ一一〇ミリメートルのもの一本。但し前記のやうに細い場合は、アルミニウム管は更に二・五ミリメートルのもの一本を用いる。

そのほか、鉛、鉛筆、ハサミ、切り刀、線、ヤマトコ、鋼線、細い四角目金、本丸、はし、先づ第三圖の如く、木の棒の両端を、



先づ第三圖の如く、木の棒の両端を、

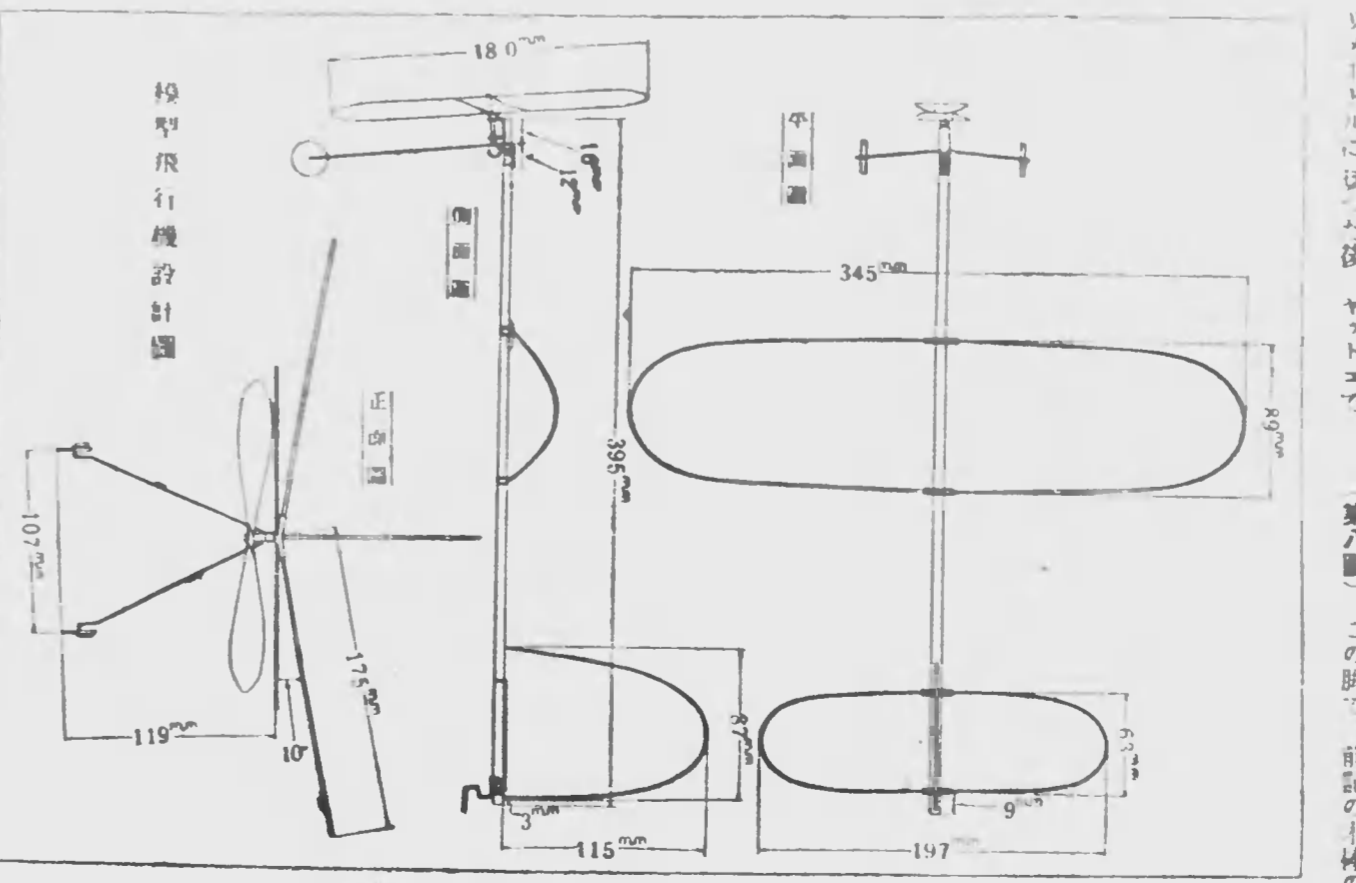
先づ第三圖の如く、木の棒の両端を、

## 誰にも出来る

簡単な材料で出来る模型飛行機の作り方を紹介しよう。まず模型飛行機の名前を各部分の名稱から説明する。第一圖で主要部、即ち木棒、平尾翼、脚、直線、針、竹ヒコ、プロペラ、車輪、日本紙、鉛、鉛筆、はし、切り刀、線、ヤマトコ、鋼線、細い四角目金、本丸、はし、先づ第三圖の如く、木の棒の両端を、

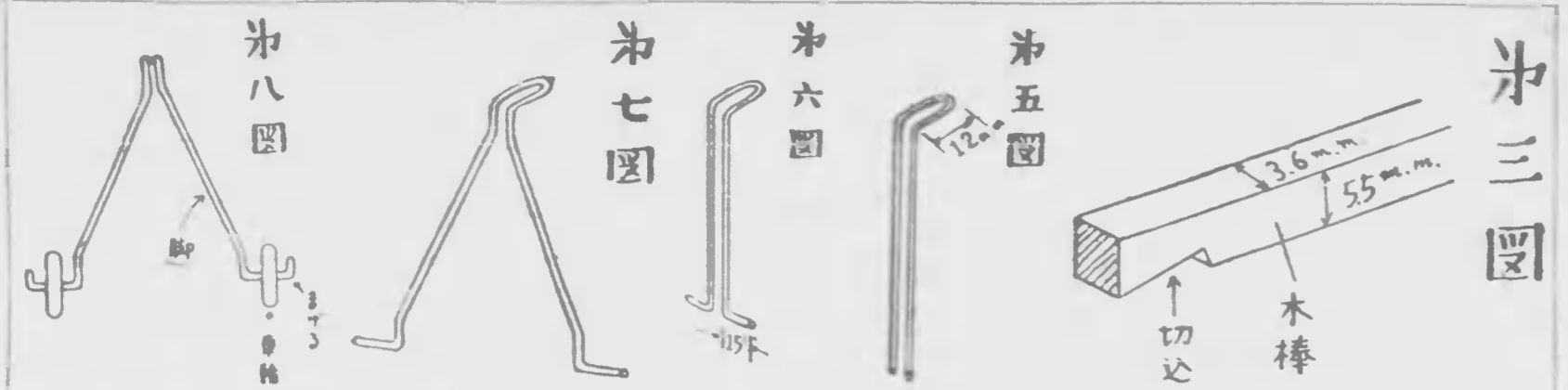
## 作り方(一)

先づ第三圖の如く、木の棒の両端を、



先づ第三圖の如く、木の棒の両端を、

先づ第三圖の如く、木の棒の両端を、



先づ第三圖の如く、木の棒の両端を、

先づ第三圖の如く、木の棒の両端を、

先づ第三圖の如く、木の棒の両端を、

先づ第三圖の如く、木の棒の両端を、

戦激のルイバンロホ

躍活大の機國愛納献

幼い児童が一鎧二鎧のお小銃を集めて獻納した「見

には、建後國民の熱い心根から生れた



建後國民の熱い心根から生れた

「各機を修理をいれず、ウエスター

「問一 グライターの種類とその

寫具週報

(問) 航空局中央乗員養成

(問) 航空局中央乗員養成所へ入所したいのですが

航空日本第一頁の人

高直は昭和八年天京陸下立川飛行場に行幸の御前御



明治四十三年十二月、代々木の練兵場にフラ



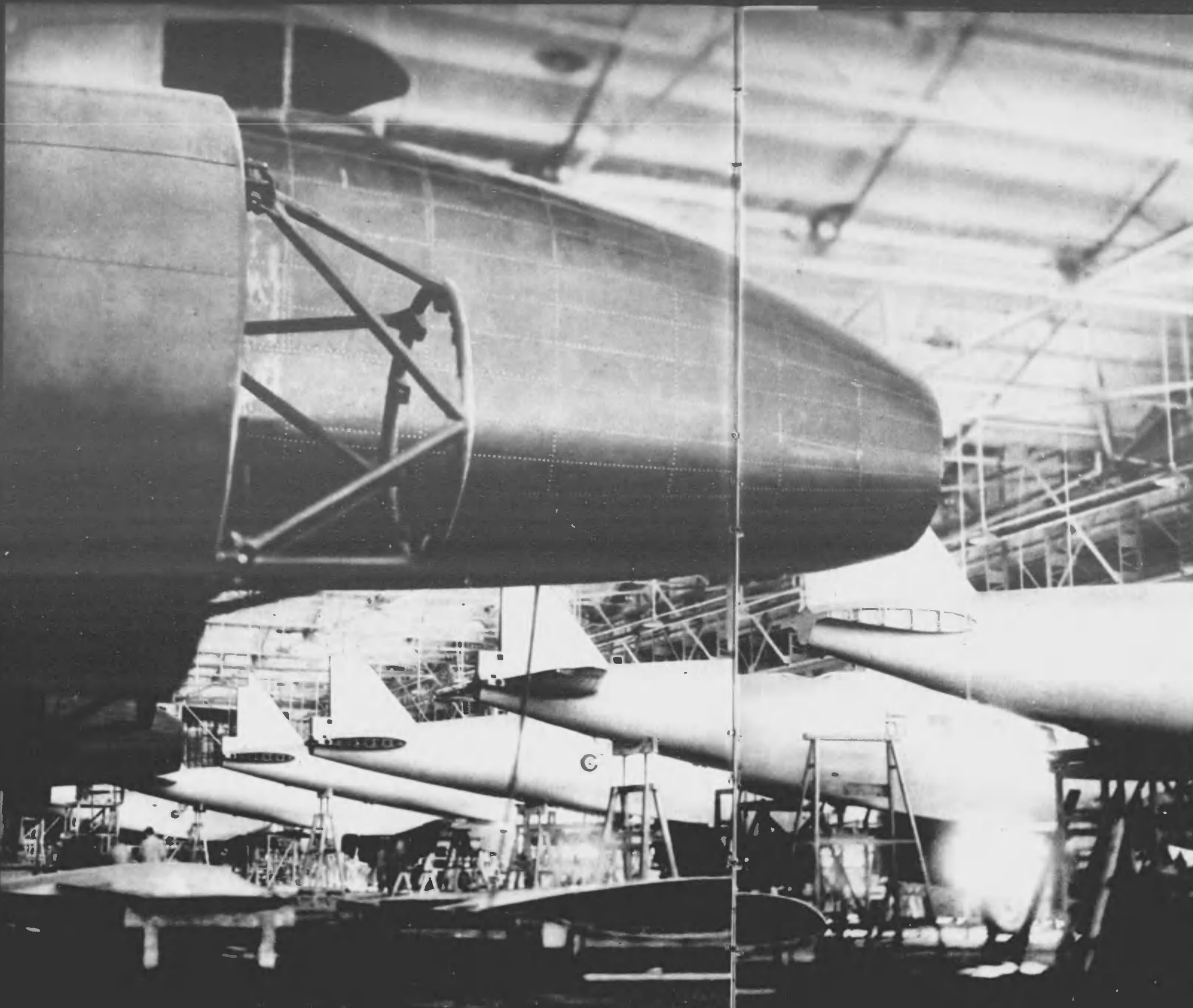
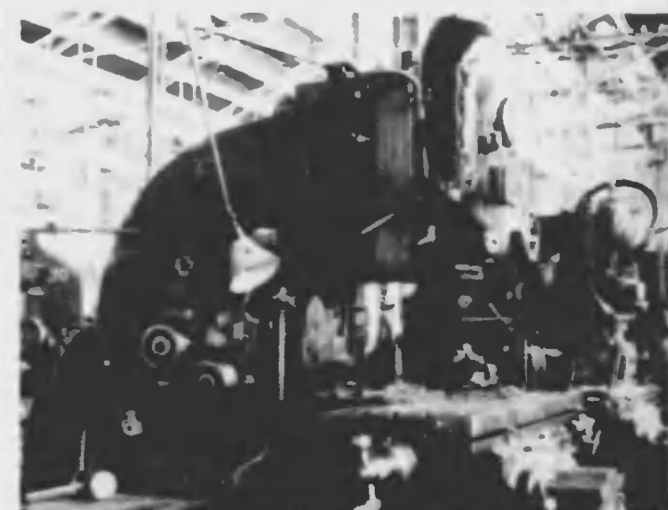
# は翼の本日 くなり限

支那事變が勃發する迄の日本航空工業は、そのスタートが諸外國に比べて立ち遅れてきたが、航空機製作の規模においてもまた航空機の性能においても地産地消、外國の模倣した輸入の域を脱してゐなかつた。しかし、事變が勃發してからは、空軍に對する異常な要求と航空工業関係者の日夜をたなひ努力の結果、今や全く外國依存の状態を脱し昔日の面影を一掃した感がある。

特に、航空機の上輪となる機脚、發動機、プロペラなどは、その性能はもとより工場生産規模や能力においても従来日本國の産品として諸外國に比べ優るとも決して劣らぬ一域に達してゐる。これはかつてのノモンハン事件及び支那事變を通じて、海軍軍が擧げた赫々たる戦績によつても、充分窺ひ知ることが出来る。

然しながら、最近の歐洲諸國の戦況によつて、各種知識の交換の道が杜絶されたため、わが國でもこれからの航空工業を全く自立獨行して世界の水準から、更に歩を進ませねばならぬ。このため、軍はもとより官民関係者が相一致し、強力な體制の下に諸々準備が進められてゐる。これは勿論であるが、局外にある國民全體も航空工業の發達に對しては特別な關心と努力を拂ふべきであらう。

機軸工場 飛行機は主として板金に各種の加工を施し、これを組立てた構造物であるが、その要所々々の連結部分や脚などは丈夫な鋼の精密加工品が必要。飛行機工場の機軸工場では主としてこんな種類の部分がつくられる。



# 日空航

日八十二月九



# 空だ 男のゆくゆく

島國から東亞の盟主——世界の推進力にぐんと伸びた日本、今こそ新世界の空へも翼を伸ばさねばならぬ。飛行機は飛行機の専門家に任せて置かう」といふ時代ではなくなつた。空は一億國民のものである。男なら若い男なら一人残らず、分相懸に空への知識を深め空への憧れを實踐しようではないか。模型飛行機といつても馬鹿にしてはいけない。初心はそこに大空征服の希望を抱き、飛行機の基本知識を学ぶ。中学生ならグ

ライターの練習に未来の荒鷲を憧れるもよからう。航空関係の學生は、来るべき航空日本のために航空理論をみっちり學んで、すばらしい創造をしてみらひたい。會員でも「空へのひととき」を求めることは出来るのだ。躍進航空日本の輝かしい明日を胸に描いて、研究室に、また大空に活躍してゐる人々の姿。これは空の教室の三部作である。

撮影 菊池雙三郎



模型機の製作、これが熱いよ！

## 中学生

東京府下十六校の中学校グライダーク部の生徒たちは土曜日の授業がすむと東京市外戸田橋の清走館事務所につけ、府教育委員の指導の下、「明日の日本の空は彼等が引受けた」と猛烈な熱に燃えている。

清走館から清走館へ、グライダーにはいつも協同精神が必要だ



教官の説明に耳を傾ける、秋風は中学生の頬にそよぐ



「お、すばらしいぢやないか」早速目につく新設計圖

## 大学生

東京帝國大學航空科の學生たちは、かの航空機に輝く世界記録を樹立せしめた先達の後をうけて、自分も全世界を翼かき飛行機を造つてみせよう、航空理論の研究に、その實踐に青年學生の熱を傾けてゐる。

立派な飛行機を作るためには精密な製圖が何より必要だ



先生を圍んで談笑のときさへ、話題はいつも飛行機だ



腹心のひととき思ひ出は遠か大空へ、まづ基本知識を學ばう

## 社員

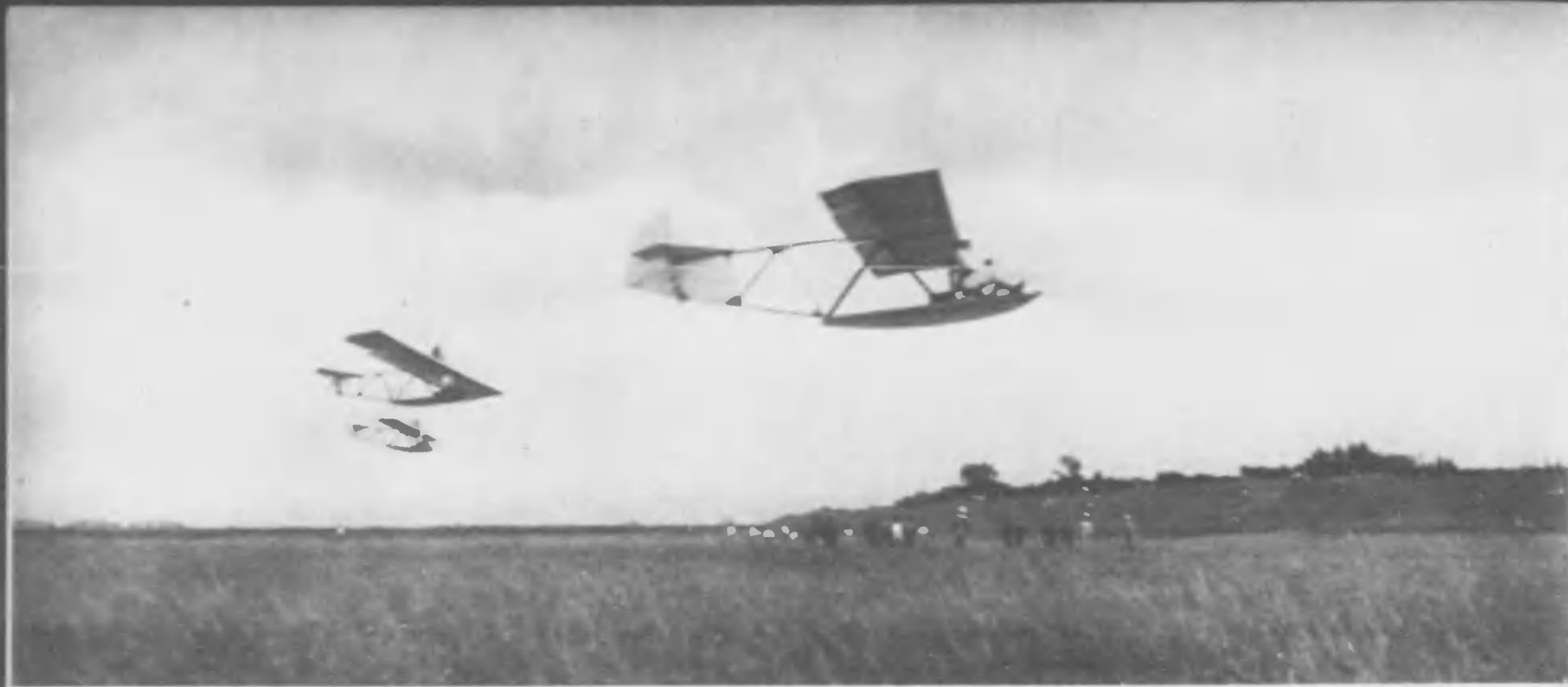
大學生時代に二等操縦士の免許を獲得した社員飛行士山岡氏は、すばらしい新機を手にして、ついに大空を飛ぶ。その姿をみながうらやましがって、なほ一段の飛躍を試みよう、せつせと東京羽田の飛行場に運んでゐる。

今日はひるから練習したあむ心に仕事はあつむ、ヒルの一室



フェアリー・チャールド機へ、一目散、上衣を脱げば秋風が





向ひ風を受け我らのブライ  
マリは軽々と浮び上った



「奥ヶ」の離合に、歩調を合せ活潑に前進、また前進



安全な飛行をめぐり  
準備が出来上り、胸にしっかりと安全帯を締めつける



陸海軍から派遣された員外生も混つて、卒業論文の勉強振り



秒速四十七米まで出る風洞では揚力、浮力などが測定される



「これだけの圧力を加へるとかへこむ」圧力測定実験



「兄さん、それから」と今日の飛行ぶりを一心にきく



秋空に雄姿と、俗慮と憂鬱を吹きおして我大空をゆく



さあ出発、まっかソリンをいっぱい詰めて

# 秋空に爆撃の妙技 海軍献納機 の命名式

秋後の熱誠こめた海軍献納機  
第三一三號以下十三機の命名式  
は秋晴れの九月十五日午前十時半  
から東京羽田飛行場で舉行された  
定期式場に銀翼をそらへた献納  
機を前に命名委員長平出海軍大  
佐が力強く命名を行へば、やがて  
海軍各隊の愛國行進曲吹奏隊に  
献納の歌謡、爆撃機、陸上攻撃  
機、艦上攻撃機は相次いで離陸、  
約八千の観衆の頭上高く特殊飛行  
の妙技を振ひ、ついで断雲を衝  
いて艦上攻撃機の急降下爆撃と陸  
上攻撃機の水平爆撃に観衆を只三  
嘆させ、帝都と川口市の上空に堂  
々たる空中編隊の偉容をみせた  
上、堂々の編隊ぶり、中、観衆  
の頭上に妙技を展開、下左、命名  
式終つて飛び立ちたる献納機



## 復習室

- 本報からあなたは何を學んだ  
てせうか？
- 1 ここの航空日はいつですか？ (20頁)
  - 2 日本人の手で始めて飛行機がわが國で飛んだのは今から何年前のことですか？ (17頁)
  - 3 ソアラートはフランス製の自動車一種、グライダートは一種？ (16頁)
  - 4 國民の赤誠によつて陸海軍に献納された飛行機は現在までどの位の機数にのぼつていますか？ (16頁)
  - 5 東京大阪間にはじめて定期航空が實施されたのはいつのことですか？ (16頁)
  - 6 内地と大陸の間に最初に開設された航空路はどの線でしたか？ (16頁)
  - 7 昭和十三年わが航研機が見事樹立した周回世界記録の大體のキロ数は？ (16頁)
  - 8 キロ、九六八、三キロ、二一、六五、一キロ、一八、三二〇キロ、どの事變動動以來(ノモンハン事件を含む)わが陸海軍の荒鷲が撃墜した敵機の總数はどの位ののぼるでせう？ (16頁)
  - 9 わが民間航空路は現在南方方面へはどのまで伸びてみますか？ (16頁)
  - 10 風洞とは 富士の裾野にある航空実験設備、(16頁)
- 一問十點としてあなたは何點でしたか？

★表紙  
秋空にぼつかり開いた塔の下、この塔はドイツのバラシエール部隊もかくやといふスリルを絶對安全にへも御手紙を吹くよと、東京多摩川河畔にある實業新聞社のバラシエール塔です。この塔は日本では最初のもので、高さは七十米、歐米諸外國のバラシエール塔に較べても最高の部に属します。

寫眞週報(禁轉載)  
昭和十五年九月十五日印刷發行  
編輯者 内閣情報部  
印刷者 内閣印刷局  
發行所 東京市豊町區大手町

所 達 申	價 定
一部十錢(送料別)	外埠郵費に依る地域は送料別
郵約部送部十九錢	地方は十九錢(外國郵便に依る地域は十九錢)の割合を以て前金を添へ御申込み
御大變の場合はその都度御拂込金より差額を申受けます	
内閣印刷局發行課	
振替東京(23)三五一九	
振替東京(9)三〇〇〇	
全國各地官報販賣所	
東都書籍株式會社	
各書店・販賣店	
寫眞材料店	

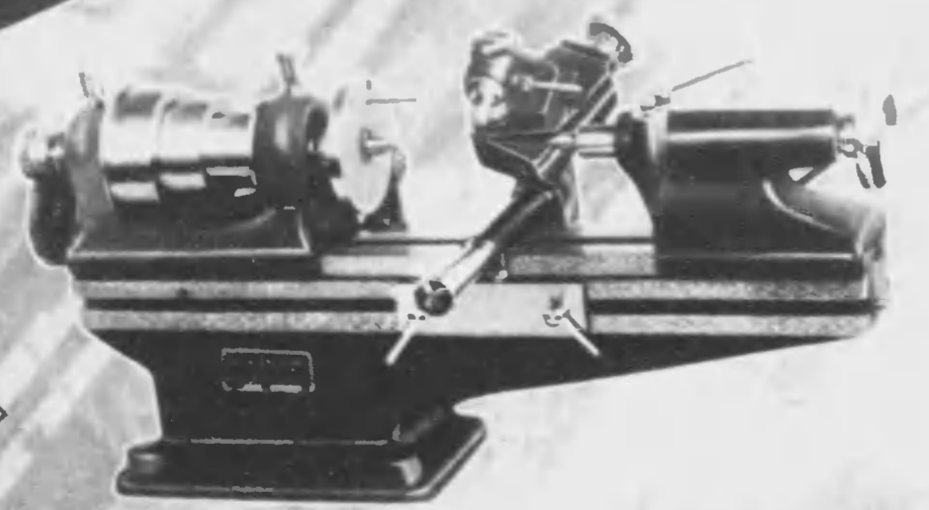


## 産業報國 營業品目

械類 工事 装置 工具 貨物  
機 製造 工 機 並 其  
作 業 製 機 並 置  
化 學 工 業 機 製 品 裝  
工 理 計 各 種 機 械 役 維 修 冷



R. B. M.  
B型 卓上ミリングマシン



R. S. L  
ねじ切り装置機  
卓上旋盤 S 型

## 理化學興業株式會社

本社 東京市神田區有樂町一ノ二  
大阪出張所 大阪市北區宗是町一(大阪ビル一階)  
名古屋出張所 名古屋市中區廣小路六ノ三(住友ビル)  
新東京出張所 新東京市特別市日本橋通八二六  
新大阪出張所 新大阪市大和區平安通  
新東京出張所 新東京市西長安街七二號(日本商工會館内)

富貴週報 昭和十七年一月十一日 第三種郵便認可 昭和十五年九月二十五日發行 郵政省 認可 郵政省 認可



利敵か護國か  
浪費か信託か

# 鴻池信託

本店 大阪今市橋二丁目  
支店 東京丸の内一丁目  
支店 東京都三條寺角

内閣印刷局印刷發行

〔列格報週・A4格規定國はさき大の書本〕